

## 19.01.20 兼松畜産セミナー

動物薬の安全性について東京農工大名誉教授の小久江先生が講演されました。その中で、「動物薬は科学的に安全が証明されており適正な使い方をしていれば全く問題がない。動物薬や農薬が人に害を及ぼすと発言している人が多いが、科学的根拠に乏しい。特に、家畜への抗生物質使用が人の耐性菌を殖やしているとの意見をよく聞くが、これは、人での抗生物質乱用が招いたものだ。安全は科学的に証明できるもの、安心は神様しか証明できない。安全と安心を同列に扱うこと自体おかしい」と言っていました。

また、サイエンスライターの松永さんは、「農薬や食品添加物についてマスコミ関係者は正確な知識を持ち合わせていない。このことが消費者に誤解を与え、消費者が農薬や食品添加物使用に恐怖している。消費者は農薬や食品添加物がいかに食糧事情改善に貢献してきたか、また、食品の安全を担保してきたか正確な情報をもっと知るべき。無農薬栽培された植物は人にアレルギーを起こす可能性もある。」とのことでした。畜産に携わるものにとって、消費者に正確な情報を提供することがいかに大切か実感しました。

渡辺